

## ドラムは自分らしさを表現できる大切なもの！



2月23日に東京音楽大学で開催された、「第12回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関東甲信越支部大会」に、スネアドラム（小太鼓）の山梨県代表として出場した**葦崎西中学校3年千野遼太くん**が、見事、最優秀賞に選出されました。

当日は、ベストの演奏ができたという千野くんも、選ばれたときには『本当に自分が選ばれている？』と思ったそうです。

小学生のときにはスポ少でサッカーをしていたそうですが、中学入学後の新入生歓迎会で、ドラムを叩く先輩の姿に憧れて吹奏楽部に入部、ドラムを始めたとのこと。

『ドラムは自分らしさを表現できる大切なものなので、これからもドラムを続けて、憧れのドラマー・神保彰さんのような演奏ができればうれしいです。』と、目を輝かせながら、将来の目標を話してくれました。

なお、千野くんは3月28日に開催される、全国大会にも出場することになっています。活躍を期待しています。

## 「歌って踊れる吹奏楽部」 葦崎西中学校スプリングコンサート

昨年の生涯学習フェスタのあの感動を、もう一度味わうチャンスです！

- \*日時 5月4日(日)  
13時開場・13時30分開演
- \*場所 東京エレクトロン葦崎文化ホール  
大ホール
- \*入場 無料・全席自由
- \*ゲスト出演 葦崎高校吹奏楽部
- お問い合わせ 葦崎西中学校(秋山)  
☎22-1431



## にらさき遺産めぐり (第2回) 山神社

春の訪れとともに、市内の多くの神社では春の例大祭が開催されますが、その内の一つ、穂坂町上今井に鎮座する山神社について紹介します。

上今井地区のほぼ中央の山の斜面に続く石段を登ると、大きな神楽殿が目飛び込んできます。神楽殿を支える礎石を見ると、江戸時代の文化年間に作られたものだということが分かります。

祭りでは地域の方々によるお神楽が奉納されています。神楽殿の先には、ネズミサシの木で作られた鳥居があり、その奥に拝殿があります。本来であれば拝殿の先に本殿がありますが、山神社には本殿の建物がなく、お腰掛けと呼ばれている柱を組み合わせたものがあります。

神社に祭られているのは大山つみの尊というとても大きな神様で、本殿に入りきらないので、腰掛けだけがあるということです。その大きさを物語るかのよう、拝殿には巨大な高下駄が奉られています。この神様はもともと南アルプスの大笹池にいて、甲斐市の赤坂、そして上今井にきたとも言われています。これは、水不足に悩まれた上今井の人々が、水を豊富に蓄えている大笹池への憧れをもって、雨乞いに行ったことを示すものとも考えられます。神社の伝説を紐解くことで、地域の歴史の広がりを感じていただけます。この他にも大きな絵馬、大きな鉄剣や天狗の団扇の彫られた瓦など、境内には興味深いものが数多くあります。お祭りは毎年4月17日に開催されていますので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか？



## 記録的な豪雪…



2月14日から15日にかけて降り続いた雪は、観測史上最大となる1m超の積雪を記録し、市民生活に多大な支障が発生する事態におちいりました。

復旧までの間、帰宅困難者の避難所開設や炊き出し、市民総出による除雪作業など、市民の皆さんから寄せられたご支援、ご協力に対し、感謝申し上げます。なお、農業施設やカーポートなど、雪害に関する助成については、全世帯配布のチラシ、市ホームページでご確認ください。